

インド留学がぼくを変えた

僕はインドに留学する前、ヒンディー語はおろか英語もまともに話せなかった。海外に出たことはなかったし、アウトドアでもないし、インド怖いし。不安でいっぱいだった。それでも、専攻語と英語ぐらい話せるようにならなきゃ、大学生活何も成してないと思った。だから決断した。

さて、僕はデリーに9ヶ月留学していた。留学中はヒンディー語の学校に行ったり、英語の学校に行ったり、駐在している日本人の方々にヒンディー語を教えたりして過ごしていた。危険な目に合うこともなく、病気にかかることもなく、楽しく過ごせた。英語とヒンディーも日常会話程度ならネイティブ相手でも、臆せずに話せるようになった。たくさんの知り合いもできた。昨今、インドにはたくさんの日本企業が進出している。インドに来る日本人はおもしろい人が多い。将来起業しようとしている人、日本の教育を変える夢を持っている人…そういう人々と出会う中で、僕は刺激を受けた。何かインドでやりたいと思うようになった。僕は服が好きなので、インドでアパレルをやりたいと思っている。

そして、その夢のためにヒンディー語や英語は必ず役に立つ。そうした、語学を勉強する明確な目的が見つかったので、今日本でヒンディー語を勉強していてすごく楽しい。たった9ヶ月。けれど、今までまっすぐだった僕の人生が面白い方向へ変わったと思っている。だから、ヒンディー語専攻に入ったら、学校で勉強するだけではなく、是非現地に行ってほしい。そして、勉強した言葉を実際に話してみてほしい。多かれ少なかれ、あなたの人生の糧になると思うから。

